

WKDI

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-051264

(43)Date of publication of application : 22.02.2000

(51)Int.Cl.

A61F 13/10

A61F 13/02

A61F 13/06

(21)Application number : 10-224644

(71)Applicant : UCHIDA TATSUO

(22)Date of filing : 07.08.1998

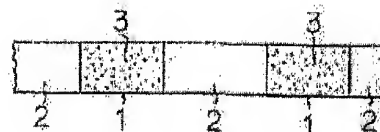
(72)Inventor : UCHIDA TATSUO

## (54) DYSARTHROSIS MOVEMENT PREVENTIVE TAPE

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent a skin rash and to enable an overstretching and excess bending to be limited by alternately providing a tape with stretchable materials and non-stretchable materials to constitute the tape and applying an adhesive only on the rear surfaces of stretchable materials.

SOLUTION: The tape is constituted by using the stretchable materials 1 and the non-stretchable materials 2 as tape materials and alternately arranging both materials 1, 2. The adhesive 3 is applied only on the rear surfaces of the stretchable materials 1. Both materials 1, 2 may be made of fabrics or synthetic resin sheets. The stretchability may be stopped by incorporating warp into the stretchable materials 1. The tapes of three kinds of sizes, large, middle and small, are formed to fit to all the joints of the human body and the coating application positions of the adhesive are set according to the points of use. For example, this position is set at about 20 cm for the feet and about 3 to about 5 cm for the fingers. The portions of the non-stretchable materials 2 are then located and mounted in the joint portions. As a result, only the portions of the non-stretchable materials 2 slide. The co-dragging of the skin at the time of exercise is thus prevented and a rash can be prevented.



(19) 日本国特許庁 ( J P )

(12) 公 開 特 許 公 報 ( A )

(11) 特許出願公開番号

特開2000－51264

( P2000－51264A )

(43) 公開日 平成12年 2 月22日 (2000. 2. 22)

| (51) Int.Cl. <sup>7</sup> | 識別記号  | F I           | テーマコード* (参考) |
|---------------------------|-------|---------------|--------------|
| A 6 1 F                   | 13/10 | A 6 1 F 13/10 | Z            |
|                           | 13/02 | 13/02         | 3 4 0        |
|                           | 13/06 | 13/06         | Z            |

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平10－224644

(22) 出願日 平成10年 8 月 7 日 (1998. 8. 7)

(71) 出願人 598106636

内田 竜夫

山口県宇部市則貞 5 丁目 1－2

(72) 発明者 内田 竜夫

山口県宇部市則貞 5 丁目 1－2

(74) 代理人 100074055

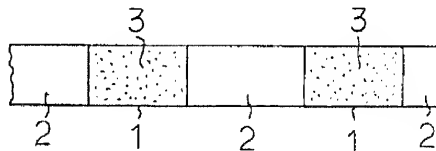
弁理士 三原 靖雄

(54) 【発明の名称】 関節異常運動予防テープ

(57) 【要約】

【課題】 皮膚の薄い関節部分の皮膚のカブレを予防し、関節の過伸展、または一過屈曲の制限を目的とする関節異常運動予防テープを開発することにある。

【解決手段】 関節異常運動予防テープにおいて、該テープ素材を伸縮性素材（1）と非伸縮性素材（2）とを交互に設けたテープで構成し、これらのうち、伸縮性素材（1）の裏面にのみ接着剤（3）を塗布したことを特徴とする関節異常運動予防テープである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 関節異常運動予防テープにおいて、該テープ素材を伸縮性素材(1)と非伸縮性素材(2)とを交互に設けたテープで構成し、これらのうち、伸縮性素材(1)の裏面にのみ接着剤(3)を塗布したことを特徴とする関節異常運動予防テープ。

【請求項2】 関節異常運動予防テープにおいて、該テープ素材を非伸縮性素材(2)で構成し、これら素材の所定幅毎に接着剤(3)を塗布した箇所(4a)と接着剤を塗布しない箇所(4b)とを交互に設けたことを特徴とする関節異常運動予防テープ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、関節異常運動予防テープに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、関節異常運動予防テープは、伸縮性、あるいは非伸縮性の素材の片面全面に、接着剤が塗布されているものであった。

【0003】そして、このテープを患部である関節部に、毎日、塗布し、張り替える際、問題があった。それは屈曲する関節部の皮膚は弱く、日毎、テープを張り替えると、爛れてしまい思わしいものではなかった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】そこで、この発明は、皮膚の薄い関節部分の皮膚のカブレを予防し、関節の過伸展、または一過屈曲の制限を目的とする関節異常運動予防テープを開発することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】その手段としては、一の発明としては、関節異常運動予防テープにおいて、該テープ素材を伸縮性素材と非伸縮性素材とを交互に設けたテープで構成し、これらのうち、伸縮性素材の裏面にのみ接着剤を塗布したことを特徴とする関節異常運動予防テープであり、さらに、他の発明としては、関節異常運動予防テープにおいて、該テープ素材を非伸縮性素材で構成し、これら素材の所定幅毎に接着剤を塗布した箇所と接着剤を塗布しない箇所とを交互に設けたことを特徴とする関節異常運動予防テープからなるものである。

【0006】

【発明の実施の形態】本発明の一実施例を図面に基づいて説明すると、関節異常運動予防テープにおいて、該テープ素材を伸縮性素材(1)と非伸縮性素材(2)とを交互に設けたテープで構成し、これらのうち、伸縮性素材(1)の裏面にのみ接着剤(3)を塗布したことを特徴とする関節異常運動予防テープから構成されるものである。

【0007】そして、テープ素材である伸縮性素材(1)と非伸縮性素材(2)は、布製でも合成樹脂シートであってもよく、素材については特に限定しない。ま

た、伸縮性素材であっても縦糸を組み込むことによって伸縮性を止めることも可能である。

【0008】さらに、この発明である関節異常運動予防テープは、人体の全ての関節に適合するよう、大・中・小の三種類の大きさのものを設け、接着剤(3)を塗布しない箇所が、足用のもので20cmくらい、肘用のもので15cmくらい、指用のものとしては、3〜5cmくらいである。

【0009】次に、この発明の他の実施例を図面に基づいて説明すると、関節異常運動予防テープにおいて、該テープ素材を非伸縮性素材(2)で構成し、これら素材の所定幅毎に接着剤(3)を塗布した箇所(4a)と接着剤を塗布しない箇所(4b)とを交互に設けたことを特徴とする関節異常運動予防テープからなるものである。

【0010】そして、この関節異常運動予防テープを患部である肘関節部に貼着するに際しては、図5、図6に示すように、肘関節の部分に接着剤を塗布しない箇所を当て、上腕(X)と下腕(Y)の部分にそれぞれ接着剤(3)を有する箇所を貼付し、この接着剤を塗布しない箇所(4b)の肘関節の部分に市販の筒状のサポーター(Z)を装着して使用するものであり、腕を動かす度に、この接着剤を塗布しない箇所(4b)の非伸縮性素材テープ(2)は、皮膚の上を摺動するだけで、接着剤(3)を設けたように、皮膚が引き連れたり、再々の治療にもかぶれることがない。

【0011】

【発明の効果】この発明によると、関節部分のうすい皮膚には、伸縮性素材(1)、非伸縮性素材(2)を問わずテープの部分に接着剤(3)が付着していない箇所を利用するため、かぶれるそれがなく、日々貼り替えて治療することができ、また、接着剤(3)のない箇所のテープの素材は、非伸縮性素材のため、関節の過伸展、または一過屈曲が制限される結果、治療に極めて有益であるとの効果を奏するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施例を示す一部欠截平面図である。

【図2】この発明の一実施例を示す一部拡大断面図である。

【図3】この発明の他の実施例を示す一部欠截平面図である。

【図4】この発明の他の実施例を示す一部拡大断面図である。

【図5】この発明の使用状態を示す説明図である。

【図6】この発明の使用状態を示す説明図である。

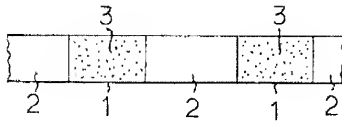
【符号の説明】

- 1 伸縮性素材
- 2 非伸縮性素材
- 3 接着剤

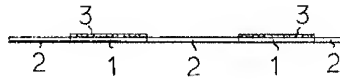
4 a 接着剤を塗布した箇所  
4 b 接着剤を塗布しない箇所  
X 上腕

Y 下腕  
Z 市販のサポーター

【図1】

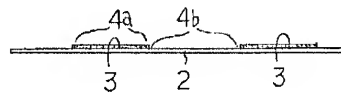
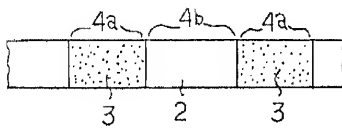


【図2】



【図4】

【図3】



【図6】

【図5】

